



2012年11月発行

## 【巻頭言】 「恵みの山分け」

十日市場開拓伝道準備委員会委員長  
上作延キリスト教会牧師 野村卓一

十日市場開拓伝道は、中山キリスト教会が長く願いと祈りを積んできたことですが、そのビジョンを南関東地区宣教協力委員会とリーベンゼラ日本宣教団がともに受けとめて、準備を始めました。八王子みなみ野に続き、「この指とまれ方式」開拓伝道の第三弾です。

「なぜ、こんな不景気の時代に、どこの教会も大変なのに、よりによって開拓伝道協力を始めるのか」。そんなことを自問しながら、十日市場開拓伝道の準備を始めました。しかし今は、この三者だけで絶大な神の恵みを山分けせずに、諸教会にもシェアしたいと私は本気で考えています。余計なお世話でしょうか。

パウロは旧約聖書のことばを引用し、昔から神は与える人を喜ばれ、その人を祝福されると言います。私の母の口癖は「施し散らして、なお富む者あり」です。教会に来た人たちのために、家にあるお金を全部使ってもてなし、折角いただいたお菓子や食べ物を出してしまう。子どもにとっては堪らなかつたんですが、今はそれも良いのだと思える。そうやって関わった人たちが、神への感謝を口にし、みずからを神にささげて、神の恵みに生きるようになることを見て来たからです。そして、私たちは教会に愛されたという記憶があ

ります。親は何も考えずにあげちゃうんですが、それでも不思議と満たされていました。

与えることが喜びにつながることで、即席の結果はついてこなくても、これで良いのだと思えること。やせ我慢でなく、そこに満ちあふれる喜びが与えられる。そのような、主に信頼するゆえの良い循環を指して、パウロは「ことばに表せないほどの賜物」と言っています。与えること、与えられること、その両方を祝福してくださる神がおられて、両者を満ちあふれさせてくださる。この不思議な祝福の拡大と循環が、私たちに賜物として与えられているのだとパウロは言います。この賜物を、この原則を私たちはすでに持っているのです。

ですから、協力していただきませんか。なによりも祈っていただけませんか。そして、神の絶大な恵みを山分けするエキサイティングな協力をしませんか。

「なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。」

第二コリント 9:12

## &lt;三保家庭集会の報告&gt;

9月より第2・4金曜日に持たれることになりました三保家庭集会は、8月末、大変な残暑の中、3000枚のチラシを配布するところから始まりました。祈りつつ迎えた三保町ベック先生宅での第1回家庭集会上、ベック先生夫妻、派遣会員の他に、5名の来会者が与えられました。2名はクリスチャン、3名は未信者で、求める心をお持ちの方々でした。聖研形式で御言葉を学び、初回とは思えないほどの深い話もできました。第2回、第3回が持たれ、クリスチャンの1名の方は参加してくださっていますが、他の方々はなかなか続けての参加が難しいようです。仕事やお孫さんの病気などで欠席と連絡があった方もいます。さらにベック先生夫妻がチラシを500枚配布してくださいました。5名の方々が続けていらっしゃるように、新しい方々が起こされるようにお祈りください。

## ベック先生ご一家と派遣会員

鯉淵兄、鯉淵早弓姉、鯉淵愛姉、鯉淵恵姉、芝田姉、芝田兄  
ベック師、アニカ、ヤニック、マルコ、ヨエル、イレーネ姉

